

7.14 緊急シンポジウム！

福島・母親殺害事件を再び繰り返さないために

主催：市民の人権擁護の会 日本支部/東京支部

後援：NPO 法人予防医学・代替療法振興協会 / 東京薬物対策協会

2007年5月、私たちは、福島県で少年が母親を殺害するという悲劇を目の当たりにしました。親と子、教師や生徒との愛情が捻じれ、その距離が広がっていることを象徴する事件です。適切な情報やより良い方法と触れる機会が少ないため、子どもを精神科に任せる風潮が蔓延してきました。その結果、無感覚になり、心をなくした青少年によって不可解で常軌を逸した事件が頻発しています。愛情をかけて育てはずの親が…、熱意を持って誠実に接したはずの先生が…、そして周囲の人々が…。

神戸の事件から10年間、専門医の言う通り「精神科への収容・薬物療法」や「学校・産業界へのカウンセリング導入」という施策が推進されてきました。しかし、その療法を受けた青少年が次々と常軌を逸した事件を起こしたり、自殺に走ったりしています。この方法は本当に効果があったのでしょうか？安全で効果があることこそ、だれもが望む施策であり、方法です。

心のケアの実情を知っていますか？心や体の健康を保つ食事や栄養を取らせていますか？子どもの本心に触れるコミュニケーションをとっていますか？体内に蓄積された薬物や化学物質が精神に影響を及ぼすことを知っていますか？この緊急シンポジウムでは、適切な情報やより良い方法に触れる機会を設けております。子どもの環境を良くするため、友人や知人をお誘いの上、参加していただければ幸いです。

7.14 緊急シンポジウム ～福島・母親殺害事件を再び繰り返さないために～

- 日 時：2007年7月14日(土) 13:30～16:00
会 場：世田谷区民会館 別館「三茶しゃれなあと」
世田谷区太子堂2-16-7 三軒茶屋分庁舎内 03-3411-6636
参加費：お一人 500円(資料代として)
申込方法：下記参加申込書に必要事項を記入の上、FAXにてお申込みください。
主催：市民の人権擁護の会 日本支部 / 東京支部 03-3576-1741
後援：東京薬物対策協会 / NPO 法人予防医学・代替療法振興協会



● 主な内容

基調スピーチ：南 孝次（市民の人権擁護の会・日本支部代表世話役）
～マスメディアが報じない「福島母親殺害事件」等の真相に見る、隠された情報に翻弄される親子の事情～

シンポジウム：（それぞれの立場から真実と解決策の研究成果を発表します）

- ・大沢 博（岩手大学名誉教授、NPO 予防医学・代替療法振興協会理事）
- ・河田 英治（ジャーナリスト）
- ・藤根 元（薬物対策協会代表）
- ・山田 玲子（心と体の健康アドバイザー、カウンセラー） 【50音順、敬称略】

パネルディスカッションと会場との一問一答：

テーマ：「誤った方法をとっていませんか？～心のケアの実情とより良い方法を求めて～」

・コーディネーター：小倉 謙（元(社)東京青年会議所委員長・現川崎市市内中学校 PTA 会長）

< 講演者・シンポジスト等につきましては、やむを得ず事前の予告なく変更される場合がございますので、あらかじめご了承ください >

参加申込書（必要事項をご記入の上、このままFAX < 03 - 3576 - 1741 > にてお送りください）

| | |
|-------------|--|
| お名前 | (ふりがな) |
| ご住所 | |
| 連絡先電話番号 | (自宅・会社・携帯) |
| e-mail アドレス | 不定期ですがメールにて情報配信を行っております。メールでの情報配信を希望されますか <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ |

尚、お預かりいたしました、個人情報につきましては主催者にて厳重に管理し、他の用途に用いることはいたしません。